

和を

装う

③

女性の皆様は誰でも、より美しくなることを望まれると思います。しかし、そのためにどんなにお化粧し、着飾って外見を磨いても、言葉遣いがぞんざいであつたり、自分勝手に協調性がなかったりしますと、魅力も半減し、他人から美しい人とは思われません。



和の装いは外見だけではなく、美しい生き方も身につけられます

## 衣服に込められた叡智

本当に美しい人とは、他人を思いやる愛の心と、感性を育む美の心、尊敬と感謝を表す礼の心、自然やすべての人と調和する和の心を備えた人であるといえましよう。

この「愛・美・礼・和」の心を、日常的にきものを装うことで、身につけることができるのです。だからこそ、かつての日本人は礼儀正しく、尊敬できると、世界的に認められていました。

その礼儀正しさは衣服の装いを大切に思い、「身形」を正すという習慣と、深くかかわっています。

つまり、和装は単に外面が美しいだけではなく、美しい生き方が身につけられる叡智が込められた衣服なのです。もちろん和装には目で見て共感できる魅力もあり、装う人も、それを見ている人も幸福な気持ちになれるのです。

(装道創始者 山中典土)

次回は5月2日に掲載

この企画のお問い合わせは「装道礼法きもの学院」

☎03・3511・3010